

# リンクスの 事業再生現場

## レポート 第47回



(株) リンクス

宇都宮市西一の沢町8-22 栃木県林業会館5F  
TEL: 028-634-5088  
Mail: info@rincs.biz  
URL: http://www.rincs.biz/

### 【詐欺にご注意を】

毎朝、新聞を広げると振り込め詐欺等の特殊詐欺事件が目に入ってきます。高齢者を狙った詐欺が後を絶ちませんが、企業をターゲットにした詐欺も相変わらず聞こえてきます。

参考までに、弊社のクライアント先に持ちかけられた2件の事案を紹介したいと思います。

1件目は、デューデリジェンスを利用した行為です。デューデリジェンス（以下DD）とは、投資家や金融機関が投資対象（ここでは企業）の実態やリスクを適正に把握するために、事前に行う多面的な調査を言います。投資家が買取価格などを決定する際の判断材料とするもので、企業買収や再生案件などを決定する際の判断材料となり、一般的に数百万円の費用がかかります。

ターゲットとなったA社は、近年は利益を上げているものの、過剰債務を抱え、その返済のために各方面から借入や未払金が膨らんでいました。

私どもと出会う半年前、都内のコンサルタント会社から提案がありました。事業スポンサーを紹介するので、その前提としてDDを行うというものです。社長さんは、藁をもつかむ思いで費用として5百万円を知人から用立てて、前金で支払いました。その後、コンサルタント会社から3人が来て、わずか2日間でDDが終了し、レポートが作られました。見せていただきましたが、決算書と少々のヒアリングがあれば出来る代物です。これが本当に5百万ですか、と聞かずにはいられません。5万円でもどうかと思います。それでも、当初の話通りにスポンサー支援が

得られるのであれば納得ができたと思いますが、スポンサーから支援対象に選定されなかったとの結論で、契約終了したようです。

本来であれば、コンサルタント会社としては、A社の概要をスポンサー先に開示し、スポンサーが興味を示した段階で、スポンサーが費用を負担してDDするものです。この件は、法的に完備しているため、訴えることも出来ませんが、最初から仕組まれたようにしか思えません。

次の事案は、信用調査にからむものです。B社に、突然、信用調査会社を名乗る男性から電話が入りました。この調査会社、帝国データバンクの関連会社のようなネーミングです。電話の受け答えから、社長さんどこか怪しいと感じたようです。

「どこからの照会か教えてくれなければ答えられない。」「依頼者との契約で教えられない。」「C社（最大手の仕入先）なのか?」「本当は教えられないが、ここだけの話、そのとおりです。」

混乱した社長さんは、一旦電話を切り、私どもの方へ相談されました。調べてみると、この会社、帝国データバンクとは全く関係ありません。信用調査で高評価にすることを餌に、多額の調査料を調査される側へ要求しているようです。本当に調査依頼があったかどうかとも怪しいものです。

普段は騙されるはずのない持ちかけでも、こちら側のタイミングと偶然に重なった場合、つい信じ込んでしまうこともあるものです。つける隙を作らないことです。



#### 〈著者プロフィール〉

代表取締役社長 佐藤 正人

昭和37年生まれ、大田原高校、新潟大学卒。

昭和60年足利銀行へ入行後、営業店、審査部門を経て平成16年退社。

在職中の事業再生の経験を活かし、平成18年栃木県で初めての事業再生専門のコンサルティング会社である(株)リンクスを設立し代表者に就任。以来地元中小企業の多くの事業再生を行っている。